



高齢者虐待とは？

高齢者虐待とは、高齢者に対して人権を侵害し、心身に深い傷を負わせることをいいます。



どんなことが虐待にあたるのでしょうか？

①身体的虐待

なぐる、ける、つねるなどの暴力や、不必要に体をしばったりするなど

②心理的虐待

脅かしや侮辱的な暴言、無視等によって精神的苦痛を与えることなど

③世話の放任（介護放棄）

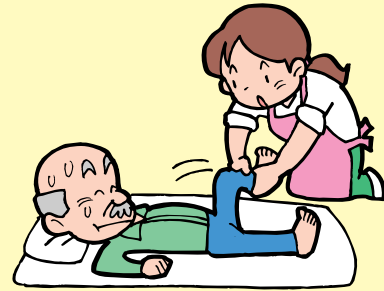
介護や世話が必要な高齢者に対して、食事を十分与えなかったり、長時間放置する。また、適切な医療を受けさせないことなど

④経済的虐待

合意なしに財産や金銭、年金を処分したり、使用するなど

⑤性的虐待

合意のない性的な行為や強要することなど



*①～⑤の他、自己放任の状態も孤独死や虐待につながる場合がありますので気をつけましょう。（「自己放任」とは高齢者自身が身の回りのことや家事ができなくなったことにより、心身の健康上の問題が引き起こされる状態をいいます。）



なぜ虐待が起こるの？

介護負担や高齢者との人間関係上の問題など、様々な理由がからみあって、虐待が起こりやすくなります。

たとえば・・・

- 虐待をしている人、されている人の性格など
- 虐待をしている人、されている人の（過去も含めた）人間関係
- 介護疲れやストレス
- 認知症による高齢者の混乱した言動
- 介護の負担が多い
- 家族が高齢者に無関心
- 経済的に苦しい

